

月刊 工連 ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

美ら海の波に乗って
世界へ届け 県産品

- 第30回定時総会
- 2014県産品奨励月間
- 「元気カンパニー」フォーモースト ブルーシール(株)

2014
7月号

Vol.596



スイッチをつけると

照明が部屋を明るく照らす。

ボタンひとつでテレビがついて、

電子レンジは夕食を温めてくれる。

会社のパソコンが、工場の機械が、

人々の仕事を助け

暗くなると街灯はいつの間にか

夜道をやさしく照らしている。

意識することなく

毎日の暮らしの中にある電気。

その電気を確実に

あなたのもとへ届けること、

それが私たちの仕事です。

毎日の暮らしの中で意識されないこと。

あたり前と感じてもらえること。

今日もスイッチをつければ

何事もなく明かりがつくこと。

それが私たちの誇り。

必要な人、待っている人、その暮らしの中へ

今日も確実に、
安全に。



地域とともに、地域のために



沖縄電力

contents

- 2p** ▶ 2014年 県産品奨励月間 ごあいさつ
沖縄県知事 仲井眞弘多
県産品奨励月間実行委員会会長 湧川 昌秀
- 3p** ▶ 2014年 県産品奨励月間 第1回実行委員会
- 4・5p** ▶ 2014年 県産品奨励月間スタート
- 6p** ▶ 学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会
南城市立馬天小学校
- 7p** ▶ 2014年 県産品奨励月間の主な事業
- 8～11p** ▶ 私たちも県産品奨励月間を応援しています。
- 12・13p** ▶ 公益社団法人 沖縄県工業連合会「第30回定時総会」
- 14・15p** ▶ キラリ! 元気カンパニー「沖縄の北極星 ニュファブシ」
地域に根ざし県民に愛される企業へ
フォーモストブルーシール株式会社
- 16p** ▶ 新うちなーむん紹介
沖縄食材の魅力を県外へ広める架け橋に
株式会社赤マルソウ
- 17p** ▶ ちばりよ～県産品
地産地消推進で県民の心をつつみつなげる
株式会社嘉数グラフィヤ
- 18p** ▶ 沖縄県食品産業協議会第37回通常総会・
平成26年度九州食品産業協議会定期総会
- 19p** ▶ 県産品愛用は雇用を拡大し豊かな沖縄県をつくります
(公社)沖縄県工業連合会 県産品自給率調査
- 20p** ▶ 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
工学部後援会主催就職説明会報告
- 21p** ▶ 沖縄職業能力開発大学校
ホテルビジネス科のご案内
- 22p** ▶ 沖縄高専だより
沖縄高専サマースクール2014
- 23p** ▶ 工業技術センターだより
地域新産業創出基盤強化事業による
導入機器の紹介 vol.②
- 24p** ▶ トピックス
平成26年度
学卒求人確保に係る主要経済団体への要請
一般社団法人 沖縄県発明協会「第4回社員総会」
会員の皆様へ

2014 JUNE 6 工連日誌

- 3日(火)** 第2回学校と産業界の交流事業
●時間/14:00～15:25 ●場所/嘉手納町立嘉手納小学校
- 4日(水)** 第30回定時総会・表彰式・懇親会
●時間/16:15～20:00 ●場所/ホテル日航那覇グランドキャッスル
- 9日(月)** 2014年県産品奨励月間第1回実行委員会
●時間/14:00～15:00 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
- 11日(水)** 2014年県産品奨励月間事業に関する説明会
●時間/14:00～15:00 ●場所/沖縄産業支援センター
- 19日(木)** 県産品の自給率向上がもたらす経済効果調査の記者発表
●時間/16:00～17:00 ●場所/工連会議室
- 20日(金)** 沖縄県食品産業協議会第37回通常総会・懇親会
●時間/17:00～20:00 ●場所/サザンプラザ海邦
- 26日(木)** 7月定例執行部会
●時間/10:30～11:50 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
平成26年度第2回理事会
●時間/12:00～13:30 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
- 30日(月)** 第3回学校と産業界の交流事業
●時間/12:55～14:45 ●場所/県立八重山高等学校

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

個別対応のため予約が必要です



0570-082100 (有料)

窓口運営時間・・・8：30～17：15（月～金） ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

☎ **098-921-2666**

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市宇小塚1831-1 沖縄産業支援センター6F
電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679

県産品奨励月間

ごあいさつ



沖縄県知事
仲井眞弘多

7月1日から7月31日までの1か月間は、県産品奨励月間です。

県産品奨励月間は、県産品の愛用について県民の皆様幅広く理解していただくとともに、沖縄県の産業の振興及び雇用の拡大を図ることを目的としています。

本年度は「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」の標語の下、街頭キャンペーンや沖縄県推奨優良県産品展示会、ふるさと企業訪問等を実施し、県産品の魅力をアピールすることとしていきます。

沖縄の地域特性を生かした県産品は、生産技術や品質の向上とあいまって、その種類や内容も多様化し、多くの

県民に支持されるとともに、県外及び海外にも認知度が高まっています。

沖縄県としても、引き続き、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用を積極的に推進し、需要拡大を図るほか、多様化する消費者ニーズに合った県産品の開発や加工・製造の促進に向け、更なる技術力向上を支援してまいります。

多くの県民の皆様が、この県産品奨励月間を契機に、本県の魅力がギュッと詰まった県産品のすばらしさを改めて認識していただき、これまで以上に御愛用くださいますようお願い申し上げます。



県産品奨励月間
実行委員会会長
湧川昌秀

今年も「県産品奨励月間」がスタートします。この活動は、県産品を愛用することで沖縄県が豊になることを、県民の皆様にも再認識していただく目的で実施いたします。

沖縄県が自立型経済の構築に向けて策定した「沖縄21世紀ビジョン基本計画」では、「ものづくり産業の振興」「県産品の販路拡大と地域ブランドの形成」といった地場産業振興に向けた事業を強く押し進めることになっていきます。

地場産業発展の根幹を担うのは「県産品の愛用です」。県民一人一人が県産品を愛用することで、雇用の確保と創出、所得水準の向上など地域社会

の発展につながり、ひいては沖縄の自立経済に向けて、大きな原動力となります。

この機会に、一人でも多くの方々に、県産品をもっと知っていただき、愛用していただきますことを切に願っております。

2014年 県産品奨励月間 第1回実行委員会

平成26年6月9日(月)
ホテルロイヤルオリオン

美ら島の 魅力がギョッと 県産品



最優秀賞に選ばれた2014年のポスター



期間中の各事業・キャンペーンに関する意見交換会では、県産品愛用の啓蒙について、様々な意見が交わされました。



今年度の標語ならびにポスターデザインの表彰式では、最優秀賞のほか、優秀賞、奨励賞が個人・団体に表彰状と副賞が授与されました



今年度の標語ならびにポスターデザインの表彰式では、最優秀賞のほか、優秀賞、奨励賞が個人・団体に表彰状と副賞が授与されました

2014年県産品奨励月間実施に伴う、第1回実行委員会会議が那覇市のホテルロイヤルオリオンにて執り行われ、湧川昌秀実行委員会会長を中心に、武田智県商工労働部統括官、その他商工会、中央会、コンベンションビューロー、JIS協会、酒造組合等、県内19団体から構成される実行委員会役員が集まりました。

公募により選出された今年度の標語「美ら島の 魅力がギョッと 県産品」と県産品奨励月間をPRするポスターデザインが発表され、標語部門の最優秀賞として採用された株式会社オー・シー・オーの友利加奈子さん。ポ

スター選定審査において最優秀賞を受賞した株式会社近代美術をはじめとする優秀賞、奨励賞の各受賞者に湧川会長より表彰状が授与されました。この標語は今年度の第38回沖縄の産業まつりでテーマとして使用されることとなっています。

これらのツールを用いた広報キャンペーンと事業内容について、実行委員会事務局による提案、報告がなされ、期間中のおもなスケジュールも発表されました。団体名称変更等設置要綱の一部改正、県産品奨励月間に伴う実施要領(案)についても審議、承認されています。

また、各事業やキャンペーンに関する質疑応答、意見交換の時間も設けられ、「県産品愛用によってうまれる雇用について重点的にPRしてはどうか」、「市町村レベルでの県産品愛用を促してみてはどうか」といった建設的な意見も交わされました。

湧川実行委員長は昨年度を振り返り、「県産品奨励活動への周知も高まりつつあり、実行委員会としてもさらに普及活動へ尽力したい」とし、実行委員会の団結を促しました。

県産品奨励月間期間中に予定されている主な事業としては、学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会、街

頭パレード、地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請活動等多数予定されています。工連をはじめとする各団体が主体となつて県産品使用奨励を広く啓発、需要の拡大を喚起することによつて、県産品の振興と雇用の拡大に繋げていくこととなっています。



2014年 県産品奨励月間スタート 「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」

7月1日、 国際通り街頭パレードを開催

県産品奨励月間の初日となる、7月1日の「県産品の日」に那覇市の国際通りにおいて街頭パレードが、今年も開催され、実施主体となる実行委員会をはじめ、那覇市、企業、県産業・雇用拡大県民推進本部構成機関、連合沖縄等から約250名が参加しました。

パレードでは、沖縄県立小禄高等学校マーチングバンドによる華やかな演奏やダンスでの先導に続き、ミスおきなわ、ミス那覇、泡盛の女王、オリオンキャンペーンガールも国際通りを行進、沿道の観光客や市民に手を振るなどパレードに華を添えました。

当日は快晴にも恵まれ、初夏の太陽が照りつけるなか、パレードは牧志公園をスタート地点とし、今年の標語として定められた「美ら島の 魅力がギュッと 県産品」の横断幕を掲げ、県庁前県民広場に至るまでの約1.5kmの道程を練り歩き、県産品愛用を呼びかけました。

県庁前県民広場では、県産品奨励月間の周知徹底を図るためのセレモニーも開催され、湧川昌秀実行委員会会長をはじめとする関係各団体の代表者によるスピーチが執り行われました。

「県産品を愛用することにより、雇用創出や所得水準向上を促し、沖縄県の経済安定化にもつながる。県産品奨励月間期間中の様々なキャンペーン、事業を通して、多くの県民に県産品の魅力を再確認してもらいたい」と湧川会長は述べ、県産品愛用への意識向上を求めました。

仲井眞弘多沖縄県知事、翁長雄志那覇市長からも、県産品使用を奨励する挨拶が届き、1か月の期間において、官民一体となった取り組みが期待されています。同時に宮古・八重山においても街頭キャンペーンが開催されており、沖縄県全土で県産品愛用を奨励する動きが広がっています。



県産品奨励月間実行委員会会長
湧川昌秀



沖縄県商工労働部産業雇用統括監
武田 智



那覇市副市長
城間幹子



連合沖縄会長
大城紀夫





学校給食における 児童生徒を囲んでの昼食会

南城市立馬天小学校のみなさんと

沖縄県産食材を使った

「おいしい給食」をいただく

「県産品の日」である7月1日、南城市馬天小学校にて、児童生徒を囲んでの昼食会が行われました。児童生徒が日頃食している学校給食において、県産食材がどのように使用されているか、また地元の食材を食べることの重要性をより深く理解してもらうことを目的としたもので、古謝景春南城市長、山城肇南城市教育委員会教育長、前原昌直（公財）沖縄県学校給食会理事長、砂川博紀沖縄県農業協同組合代表理事理事長が生徒たちと昼食をとりました。

県産品奨励月間実行委員会の湧川昌秀会長は、「県産食材を食べることで沖縄での仕事が増え、生活がより豊かになります」と児童生徒に向けて提唱しました。

当日の献立は黒豆ごはん、イナムドゥチ、ゴーヤーとモイイの和え物、魚のモズクあんかけ、アイスクリーム。魚は沖縄県近海で水揚げされた県産魚、ゴーヤーとモイイは南城市内の農家で収穫されており、デザートのアイスクリームには県産紅芋が使われています。

根川文枝沖縄県学校栄養士会会長による食材の特徴や生産地についての説明に児童生徒たちは熱心に聞き入り、県産野菜や魚をおいしそうに頬張っていました。沖縄の未来を担う子供たちに県産品への関心を高めてもらいたいきっかけとなりました。



2014年 県産品奨励月間の主な事業

月 日	事業内容	実施主体
5月中	● 学校給食における県産食材の優先使用についての文書要請	工連
6/9(月)	● 県産品奨励月間第1回実行委員会	実行委員会
6月中	● 市町村、JA、企業等に対する県産品使用奨励の懸垂幕、のぼり等の設置協力依頼 ● 関係機関等へのポスター配布(1,270カ所)	沖縄県、工連 市長会・町村会 沖縄県・工連
6月下旬	● 「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」及び「大型プロジェクト建設工事発注方針」についての県の要請	沖縄県
月間期間中	● 広報メディアによる広報	実行委員会
7/1(火)~31(木)	● 新みんなでグッジョブ運動推進月間	みんなでグッジョブ運動推進本部
7/1(火)	● 学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会	工連
7/1(火)	● 街頭パレード(牧志公園~県庁前県民広場)(16:00~16:30) ● 街頭キャンペーン 那覇市:県庁前県民広場(16:40~17:00) 宮古:マックスバリュ宮古南店 石垣:マックスバリュやいま店	実行委員会
7/1(火)	● 地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請活動	県連:34 商工会
7/2(水)	● 国、県、関係機関への要請(16カ所)	5 団体
7/3(木)	● 国・県関係出先機関への要請(国:6カ所、県:6カ所)	5 団体
7/4(金)	● 食品関係大口需要者への要請(16カ所) ● 建材関係大口需要者への要請(11カ所)	5 団体 "
7/5(土) ~12(土)	● 食と子どもの健康展 7/5(土)サンエー西原シティ店 7/12(土)イオン具志川店・名護店	県学校栄養士会 県学校給食会
7/7(月)~11(金)	● 沖縄県優良県産品展示会 場所:県庁1階県民ホール	沖縄県
7/7(月) ~17(木)	● 市町村、議会等に対する県産品使用奨励の要請活動(91カ所)	5 団体
7/14(月) ~25(金)	● 泡盛同好会・フェア 7/14(月)関西泡盛同好会(大阪) 7/17(木)~21(月)山陽マルナカ沖縄フェア(兵庫、他) 7/23(水)宇部泡盛会(山口)・7/25(金)北海道泡盛同好会	県酒造組合 協同組合琉球泡盛古酒の郷
7/15(火) 7月上旬 ~8月中旬	● マンゴー販売促進キャンペーン 1.「マンゴーの日」セレモニー 2.JAファーマーズ、道の駅等におけるフェア 3.県内外量販店等におけるフェア	JA、県農水産物販売促進協議会 果樹フェスティバル実行委
7/18(金) ~27(日)	● わしたショップ国際通り本店、那覇空港わしたショップ 合同周年祭	沖縄県物産公社
7/23(水) 7/30(水)	● ふるさと企業訪問(実行委員会構成団体 他) ● ふるさと企業訪問(公募による一般消費者)	沖縄県・工連
7/25(金)	● 県産建材・リサイクル関連企業訪問	工連
7/28(月)	● 沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会	沖縄県・工連
7月下旬	● 地場産物を活用した献立調理発表会	県学校給食会・県学校栄養士会
8月中旬	● 県産品奨励月間実行委員会(実績報告会)	実行委員会

県産品を愛用しましょう。

郷土の資源で郷土をつくる

 **琉球セメント**

代表取締役社長 西村 聡

おいしい幸せ

オキコ

<http://www.okiko.net>

私たちも県産品奨励月間を
応援しています。

新発売



琉球泡盛

残波

5年古酒
RYUKYU AWAMORI
ZANPA
PREMIUM

有限会社 比嘉酒造
URL <http://www.zanpa.co.jp>

5年古酒 35度 720ml

県内唯一!
サッシ形材製造

 **金秀アルミ工業株式会社**

代表取締役社長 呉屋 守章

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。




人の手のぬくもりが
原点です。

県産品を心で包むお手伝い。

 **株式会社 ゴミミヨンボール**

工場 TEL.098-992-1616 糸満市西崎町4丁目7番
FAX.098-992-1155

省エネ・省力化 (Low Cost Automation) 技術で
県内企業のご発展の為に協力致します。

 **沖縄オートメーション(株)**

代表取締役社長 宮里 佳孝

沖縄県名護市東江五丁目13番17号

TEL (0980) 52-1528

① 沖縄製粉株式会社

代表取締役会長 竹内 聡
代表取締役社長 竹内 一郎

〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町1番1号
TEL(098)868-3141 FAX(098)868-8279
<http://www.okifun.com>

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274

地域応援! オキム® の農工商連携商品



十年貯蔵古酒。 琉球泡盛 後乃邦 数々の国際賞受賞。

原料/米こうじ 糖量/720g アルコール/25度
原料/米こうじ 糖量/720g アルコール/25度

87モンド・ワールドコンペティション金賞受賞(オーストラリア)
1997年インターナショナル・インベストメント・コンペティション金賞受賞(イギリス)
89クリオ・アウォーズインターナショナルデザイン賞受賞(アメリカ)
泡盛類評金賞知事賞受賞金賞受賞

① 沖縄県酒造協同組合 0120-43-94-92 <http://www.awamori.or.jp>

ハイウェイ沖縄

株式会社 開邦工業

県内唯一の一般都市ごみ焼却炉・火葬炉メーカー
焼却施設のメンテナンス、修繕・補修工事

関東一円で展開する県内産のエンジニアリングをご活用下さい。

本社/沖縄県うるま市字州崎7番地19
東京支社/東京都港区芝2-6-3 6F
茨城さしま事業所・沖縄市営業所・南城営業所・与那原営業所
<http://www.kaiho-k.co.jp>

バグフィルターのことなら カイホウおまかせ **検索**



沖縄の海水塩「青い海」

シママース本舗
株式会社 **青い海**
aioiumi
TEL 098-992-1140
FAX 098-994-8464
<http://www.aioiumi.co.jp>

ダンボール・パッケージの 総合紙器 (098) 992-1111

永年の施工実績を誇る
安心・安全・信頼の品質「既製コンクリートくい」
日本工業規格認証取得工場 ●日本下水道協会認定工場
日本建築センター評定取得工場 ●COPITA 評価取得工場

リウコン株式会社
代表取締役社長 大城 正治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065

www.riukon.co.jp **リウコン** **検索**

【取扱製品】
●リウコン85/マイル(PHC④)・節航・CPRC-ST ●リウコン105/マイル(PHC、節航・CPRC)
●ヒューム管④・推進管・PC、RCボックスカルバート ●組立マンホール(ユニホール)・擁壁・舗装製品

水は宝...一滴を大切に

詳しいお問い合せはお気軽にご連絡ください

津嘉山ステンレス工業
株式会社 **津嘉山**
TEL. (098) 929-2129



キャッスルスカイピアドーム2014

生ビール飲み放題、食べ放題！
ステージではライブもあり！
ホテル20階「スカイビュープラザ」で
那覇の夜景を楽しみください。

【7月の開催日】
7月10・11・17・18・24・25・31日

※開催日は変更になる場合がございます。
ご予約の際にご確認ください。

ご予約・お問合せ：Tel.098-886-5464 [宴会予約係]
www.hotelnikkonaha.co.jp

✿ホテル日航那覇 グランドキャッスル

**私たちも
県産品奨励月間を
応援しています。**

卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 沖縄ホーメル

代表取締役社長 比嘉 昌治

食中毒、臭気対策に除菌・消臭水

ソリューションウォーター®



本社 〒900-0003 那覇市安謝1-23-8 TEL:098-867-1633
<http://okinawa-okano.co.jp/>

蒟蒻紅いも菓多本舗
御菓子御殿

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術



代表取締役社長 津波 古義 秀

日本工業規格表 示認証工場
ISO 9001.140001 認証取得

本社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ <http://www.gikenpc.co.jp> FAX 098-945-1181

**沖縄県コンクリート
二次製品協同組合**

理事長 大城 保 一
副理事長 津波 古 義 秀
副理事長 宮 城 勝

沖縄県宜野湾市大山7-3-16 TEL(098)898-7785(代)

信頼で創るより良い環境

電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工



代表取締役 小波 津 聡

本社 / 沖縄県那覇市南風原2丁目10番10号 TEL(098)-867-6300 FAX(098)-865-3282(代)
西原支所 / 沖縄県西原町字長240-1 TEL(098)-945-1742 FAX(098)-945-4728

おかげさまで 40周年
マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する
沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号



代表取締役
眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924



総合印刷・広告代理業・イベント・観光情報・IT事業

株式会社 近代美術 〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城206
TEL.098-889-4113(代) FAX.098-889-8484

<http://www.p-kindai.co.jp>

- オキボール ●沖縄ハイボール ●照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ●ボール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCパイプ
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ●テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて
沖縄テクノブリード株式会社

代表取締役社長 仲本幸文

本社 / 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098)868-2522
 海邦工場 / 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512



ビニールパイプ
 ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
 TEL.(098)982-1371 FAX.(098)921-2336

県産品を愛用しましょう。



純粋な米島の久米仙 お酒は20歳になってから、産地産の飲酒はお控え下さい、お酒は適量に。

鋼材・仮設材リース及び販売・鉄筋加工・金物販売

那覇鋼材(株)

代表取締役 上原 勉

本社 / 〒901-0242 豊見城市字高安593-1
 TEL.(098)850-7171(代)

琉球ガラス工芸協業組合
 琉球ガラス村

理事長 大江 聖彌
 副理事長 親富祖 徹
 専務理事 稲嶺 秀信

〒901-0345 沖縄県糸満市福地169
 TEL (098)997-4784
www.ryukyu-glass.co.jp

イーエムワン EM・1 ピセーブ EM・X GOLD

安全安心の天然消臭剤

EM 土壌改良材

EM 発酵飲料

EM 研究機構 TEL 098-935-0202

沖縄県産品許可品目 プレハブ鋼管・浮棧橋



不二宮工業株式会社

代表取締役 宮城 武夫

<http://fujimiya-k.co.jp>

〒901-2313 沖縄県北中城村字熱田1985番地
 TEL.(098)935-5755(代)・FAX.(098)-935-5771

歩く喜び取り戻そう!!

株式会社 佐喜眞義肢

〒904-1201 国頭郡金武町字金武10914
 ☎ 0120-132-571
 (フリーダイヤルヒザソーゴナイ)

CBブレース

URL <http://www.cb-sakima.jp/>
 E-Mail info@cb-sakima.jp

日本工業規格認証工場(認証番号)GB0907002



東洋コンクリート株式会社

代表取締役 新垣 一明

西原町字兼久218番地 TEL (098)945-2762~4

沖縄県知事許可(般・22) 第9913号



株式会社 **電装技研**

キュービクル・制御盤 電気工事
 配分電盤・計装盤・製作販売

代表取締役 渡慶次 道安

〒903-0113 沖縄県中頭郡西原町安室41番地
 TEL.(098)946-6591・FAX.(098)946-6594 E-Mail dsgk2000@lime.ocn.ne.jp



公益社団法人 沖縄県工業連合会

第30回

定時総会

平成26年6月4日(水)
ホテル日航那覇グランドキャッスル



第30回目となる沖縄県工業連合会定時総会が、ホテル日航那覇グランドキャッスルで開催されました。

湧川昌秀会長は挨拶で昨年度の実績と課題を振り返ったうえで、「沖縄県における経済状況にはまだまだ課題も多いが、景気は着実に上向しており、今年度以降もさらなる発展のため邁進したい。県産品奨励活動、グッジョブ運動のPR、産業まつりをはじめとする各イベント、キャンペーンの実施に向けて、産・学・官の連携を深めていきたい」と意欲を表し、沖縄の産業界を支える団体としてより一層の団結を促しました。

議案審議では、平成25年度収支決算承認及び監査報告が行われ、さらに、理事企業代表者交替等に伴う理事の改選についても新任理事(案)6名が選出、承認されました。続いて行われた表彰式では、優良従業員賞受賞者48社86名、優秀技

能者賞受賞者8名、創意工夫功労賞受賞者3名2グループ、第48回オグレスビー氏工業功労者賞受賞者3名、さらに、今年度で工業連合会副会長の職を辞する西村聰氏(琉球セメント株式会社代表取締役)、一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄金城盛順代表理事、そして「学校と産業界の交流事業」功労者として9名にもその功績を称えて感謝状が授与されました。

終盤には工業連合会青年部会が先導してスローガンの斉唱も行い、県産品シェア向上と雇用の拡大、技術力と品質向上、人材育成推進、ひいては県経済の自立化を目指して一致団結を図ることをあらためて共有しました。

総会閉会後には懇親会が催され、内閣府沖縄総合事

務局河合正保局長をはじめとする来賓も招いて盛況を収めました。湧川会長をはじめとする役員(執行部)を中心に工業連合会の絆も深まり、30回の節目となる定時総会にふさわしい会となりました。

大切な人へ、
輝く夏の贈り物。

限定
夏季
限定
Orion
KASHIUCHI
夏限定限定
Orion
ビール

飲酒は20歳になってから。 のんだあとはリサイクル
飲酒運転は法律で禁止されています。

第30回 定時総会受賞者

◎優良従業員賞(48社86名)

◎優秀技能者賞(8名)

◎創意工夫功労者賞(3名2グループ)

◎第48回オグレスビー氏工業功労者賞

(有)沖繩養生薬草本社 代表取締役社長

下地 清吉 氏

(株)ぬちまーす 代表取締役社長

高安 正勝 氏

(合)新里酒造 代表社員

新里 修一 氏

感謝状

琉球セメント(株) 代表取締役社長

西村 聡 氏

(一社)ものづくりネットワーク沖縄 代表理事

金城 盛順 氏

学校と産業界の交流事業 功労者

(株)佐喜眞義肢 代表取締役社長

佐喜眞 保 氏

(株)ぬちまーす 代表取締役社長

高安 正勝 氏

(株)トリム 代表取締役会長

新城 博 氏

(株)なかむら食品 代表取締役社長

仲村 正雄 氏

(株)ファッションキャンディ 代表取締役社長

知念 律子 氏

第22回 古波津製造業育成基金

技術功労賞

(株)未来企画 代表取締役

野原 剛 氏

技術の名称「マジック手摺・光のカーテン」

助成金交付(人材育成助成金)

なは市少年少女発明クラブ(会長:西村聡)

図書贈呈

久米島町立 久米島西中学校

久米島町立 球美中学校

南大東町立 南大東小中学校

北大東町立 北大東小中学校



学校と産業界の交流事業功労者



感謝状受賞者



オグレスビー氏工業功労者賞受賞者

ワズガス 街に暮らしに ちゅらエネルギー

沖縄ガス

環境にもやさしい ガスで節電!!

沖縄ガスショールーム YOU-KURU

那覇市西 3-13-2 沖縄ガス

☎(098)863-7750 [ショールーム] ☎(098)863-7730 [代表]

鉄のリサイクルを通して 社会に貢献する 沖縄唯一の電炉メーカー (ISO9001 審査登録)

拓南製鐵株式会社

代表取締役会長 古波津 清昇
代表取締役社長 古波津 昇

本社 那覇市壺川 3-2-4 ☎098-832-0588
新中城工場 沖縄市海邦町 3-2-6 ☎098-934-6822
石灰工場 名護市字安和 2656-2 ☎0980-53-8018

地元扎根し 県民に愛される企業へ

フォーモストブルーシール株式会社
代表取締役 水田 正明



ブルーシールの歴史

1948年、うるま市にある米軍基地内においてアメリカ資本により創業したフォーモストブルーシール社。

米軍基地に従事する方々へ乳製品供給の為に設立されましたが、1963年に現在の浦添市牧港に店舗を構えました。

そして、これまで滅多に味わう事の出なかつたブルーシールが県民にも身近な存在に変わり、以来アメリカ生まれ、沖縄育ちのアイスクリームとして、アメリカで生まれた製造法を守りながら、沖縄県産の素材を取り入れる事で、沖縄独自のフレーバーを商品化するなどして、県民や観光客の方々にも受け入れられ親しまれてきました。

今でも牧港本店は、当時の写真を基に店内の様子を再現するなどしてアメリカ的な空間を残しています。

ブランドイメージの改革と プラットフォーム形成

昨年、創業から65年目を迎え、長い歴史と共にシンボルマークとして活躍してきたブランドマークを一新。「f」のラインが

印象的だったマークからより「元氣・活発・沖縄の海や風・笑顔」を印象つける形へと変えました。

改革を主導したのが、代表取締役社長の水田正明氏。ブルーシールの歴史そのものであったブランドマークを変える事は大きな決断だったといえます。

「2011年に代表取締役に就任し、まず最初に取り組んだのがブランドイメージの調査・変革でした。ブランドマークを一新させ、歴史にあぐらをかくのではなく、新しい会社の新たなプラットフォームを作り上げるのが目的です。」

従業員の中には、革新に否定的な者も少なくありませんでした。マークを変えるだけで会社が良くなるのかという反対意見が噴出し、印象的だった「フォーモスト」の「f」を外す事に対しても、沢山の意見が社員から寄せられました。しかし、それもまた従業員が「ブルーシールブランド」に対し強い愛着と誇りをもっているからこそであると確信していた水田氏。ブランドマークを一新して以降は、従業員全員が同じ方向を向いて団結していると語ります。

「プラットフォームをしっかりと作ることで、従業員がより自信を持ってそれぞれの仕事に向き合う事が出来ます。これからのブルーシールは『Dream making company』をテーマに、美味しく楽しく感動にあふれるブランドとして、沖縄の人々の誇りとならなければなりません。そのためには、従業員全員が目標やテーマを共有し同じ方向へ進まなければ。」

それまでまばらだった店舗のインテリアも世界観を統一させた。但し、ブルーシール牧港本店は例外とし、変えてはならないものを守りつつ「聖地」として大切にしていきたいと、ブランドへのこだわりと愛情を語って頂きました。



ニセアアシ(北極星)とは、航海の時、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということと、「世の中の目標となる星になりなさい。」という意味も持つ沖繩のことばです。



写真 左：17のフレーバーがタワーのように盛られたビッグサイズのパフェ「ビッグマウンテン」はグループに好評。

写真右上：「BLUE SEAL」のサインが一際目を引く、浦添牧港店

写真右下：1970年代頃の店舗外観（現在の浦添牧港店）



創業当時のカウンター席を再現(写真右)



60年代のクラシックな「アメリカン・ダイナー(アメリカ風レストラン)」を思わせる店内は、創業当時のテイストが感じられるシックなカウンター席のほか、ポップなカラーコーディネートテーブル席もあり。

フォーモスト ブルーシール株式会社

業 種 アイスクリームの販売
アイスクリーム関連商品の販売
冷菓と乳製品の販売
アイスクリームパラーの経営
飲食店経営

設 立 1963年2月9日

代 表 者 代表取締役 水田正明

住所・連絡先 沖縄県浦添市牧港5丁目5番6号
TEL 098-877-5103(代表)
FAX 098-876-6499

オフィシャル http://www.blueseal.co.jp
サ イ ト

「わったー島のアイスクリーム」をテーマに地「元」密着

「ブルーシールは私のものでも会社のものでもない。沖縄県民のものだ。」と語る水田氏。

水田氏が就任される以前に、県外進出に力を入れていた時期があり、東京都内を中心に全国各地へフランチャイズ拡大を図っていました。しかし、本土進出にこだわるあまり、ブルーシール本来の「地元」に根付いた会社、「ブランド」という部分が疎かになっていったと当時を振り返ります。

ブランドマークの一新を機に、改めてブルーシールというブランドのあり方について見つめ直す事が出来たといいます。

水田氏は、「沖縄県民が誇れる『わったー島のアイスクリーム』を口にする事で、元気な人もそうでなかった人もみんなが一瞬で美味しい笑顔を見せてほしい。それがブルーシールの目標であり、存在意義です。」

と語りました。

ブランドの歴史と知名度に恥じない強い会社・人材・店舗を作りたいと、ブランド力の更なる強化を目指しています。

●商品開発について

ブルーシールのアイスには、アメリカンな印象のフレーバーとオキナワンな印象のフレーバーが常時、定番フレーバーで25種類以上並んでいます。そこに、新鮮さと楽しさを加える為、季節フレーバーや数量限定のフレーバー等、常に新しいアイスも並べながら、新しい沖縄県産素材を模索し商品化を目指したり、その季節に美味しい素材を探し常に探究しております。

その他にも、オリジナルグッズ開発や、異業種とのコラボ商品の開発なども行いながら、お客様に楽しんで頂ける、そして喜んで頂ける事へのチャレンジも欠かしません。

●時代に合わせた取り組み

インターネットを活用した通販事業やSNSにも力を入れています。オフィシャルサイトはもちろん、楽天やYahoo!を利用した通販サイトでもブルーシールギフト等の商品を購入することができ、県外の方々にも楽しんでもらえるような仕組みを作り、年々売り上げを伸ばす活気ある事業となっております。また、FacebookやLINEを使ったブランド質向上の他、ファン層拡大も期待以上の成果を挙げてきています。

●地域貢献啓蒙活動について

地元沖縄の方々を大切に、そして地域密着型を目指して、貢献活動にも力を入れています。例えば、FC琉球や琉球ゴールデンキングスサポート、ピンクリボンやオレンジリボン、サンゴ保護支援など。そしてジュニア育成として、少年野球大会スポンサーや、オリジナルで作りに上げた大型絵

本の読み語り活動。また、ブルーシールと一緒に歴史を歩んで来てくれたご年配の方々がいる施設での模擬店。模擬店では、リハビリを兼ねた目的のもと取り組んでいます。

「アイスを頼る子供たちの笑顔を見ると、こちらも力が湧いてきます。また、ご年配の方々ブルーシールアイスを見ると、普段物静かな方々も子供の頃を思い出すのか、会話が弾み、身体を動かす事が少なくなった方々も身体を動かさず事はばし、明るく美味しそうにアイスを食べてくれる姿は忘れられません。」

ブルーシールのアイスには人の心をほどこさせ笑顔にさせる力があるのです。」と、沖縄県民に愛されるブランドをこの先、まずは100年守り続ける為の努力は惜しまないと力強く誓っていました。



新うちなーむん紹介

株式会社赤マルソウ

●本社/糸満市西崎町4丁目10番地2号

TEL 098-992-0011・FAX 098-992-0033

http://www.akamarusou.co.jp/

地場食材を使った安心・安全の商品開発に、こだわりが感じられる商品ラインナップ



沖縄食材の魅力を 県外へ広める架け橋に

昭和25年、那覇市首里にて具志堅味噌醤油合名会社として創立し、昭和63年に社名を変更、現在までの間に多くの商品を生み出してきた株式会社赤マルソウ。平成6年に糸満へ拠点を移し、糸満工業団地内に工場を新設してからは、さらに開発力を強化させ、積極的な商品展開を続けています。創業64年の老舗調味料ブランドとしての歴史を守りながら、革新的な商品開発、他企業との連携も同時に行っています。

沖縄豚肉みそ・島一番の調味料屋シリーズは、県内はもちろんのこと、県外にも多くのファンを持ち、リピーターも多い赤マルソウの主力商品です。

豚肉みそはスーパードライなどで販売される県内向け、土産品店などで販売される県外向けとそれぞれに名称、パッケージが異なります。中身も県内、県外と異なる味覚、食文化に合わせて微調整することで、いずれの消費者にも高く評価されています。よりよい商品を食卓へ届けるため、手間とコストを惜しまない赤マルソウの経営方針を体現した商品です。

島一番の調味料屋シリーズのぼん酢・ドレッシング・タレは沖縄の素

材を使用することを定義しており、シークワサーや島とうがらしなど約10種類のラインナップを誇ります。平成22年には「島一番の調味料屋が作ったシークワサー塩ぼん」が沖縄県優良県産品として推奨され、県産ドレッシングとして認知されています。「沖縄の素材が持つ魅力を広く全国、ひいては世界へと広めていくため、気軽に食卓に取り入れられるドレッシングが役立つはず。沖縄県の活性化や食文化の継承にもつなげることができれば」と赤マルソウ製造部の富村盛克氏は語ります。

ミネラルを豊富に含んだ沖縄の塩「ぬちまーす」を使用した「ぬちまーすドレッシング」や県産タンカン果汁の甘みが食欲を刺激する「タンカンぼん酢」が新商品として加わり、注目されています。

微妙な風味の変化や香りにまでこだわっており、商品開発には最短でも1年の時間を要するといえます。幾度も試作を繰り返してようやく世に出された赤マルソウの自信作。富村氏は今後も新商品の開発に力を入れていくとしており、今後の展開に県内外から期待が高まっています。



ご案内いただいた
株式会社赤マルソウ
製造部 富村盛克さん

工場では近代化された設備に加え、人の経験や知恵を下地にした商品づくりがおこなわれている。



ちばりよ〜県産品

株式会社嘉数グラビヤ

●本社／糸満市西崎町5-3-6
TEL 098-992-4011・FAX 098-994-2294
<http://www.kakaz.info/>



地産地消推進で 県民の心をつつまつなげる

ポリエチレンフィルム製品、ポリプロピレン製品、包装資材各種などの企画・製造、販売をおもに手がける株式会社嘉数グラビヤ。プラスチック（ポリエチレン・ポリプロピレン）フィルム製品においては、自社工場にて原料から加工し、企画・製造・販売までを一貫して行っているのが最大の特徴です。

県民の生活に身近な包装資材を取り扱うということもあり、県産品を奨励し、循環型社会の実現に力を入れているといえます。

「原料調達からフィルム加工・プリントまですべての工程を自社で賄うことにより、価格を抑えることができ、小ロット生産も可能になります。

また、商品のサイズや用途に応じた特注オーダーも提案できるのが強みでもあり、総じて適正生産によってコスト削減になり過剰な在庫を抑えりスクも軽減できると思えます。

また、同社はリサイクル事業にも積極的で、フィルム製品の製造過程で生じる調整ロス・端材をリサイクル原料に加工し、レジ袋やごみ袋、土間用シートなど様々な製品に再現。自社工場内では、廃棄ロス（ゼロ）への取組みにおいて、リサイクル製品の開発にも力を注いでいます。

端材を再利用し製品化する際にはどうしても複数の色が混じってしまいます。この灰色がかった色を『エコの色』として製品化した「エコグレーポリシリーズ」は沖縄県産リサイクル製品利用促進制度の平成20年度認定製品に選出されています。

「リサイクルを通じ、『地産地消』をアピールしたいと考えます。県内企業だからこそできることを大切に、県民の心を包み、人と人をつなげていきたい。そんな思いをこめて1枚1枚作りに作っています。

地域密着型企業として、沖縄県民の生活を支えたいと考えております。

ポリ袋を「1斤、2斤」と数えるのは全国でも沖縄だけです。昔から商店などで、ごく一般的に使われてきた単位であり、現在でも量販店等で「斤袋」として販売されています。

豆腐や野菜を包み、沖縄の食文化の歴史に寄り添ってきた「斤袋」とその呼び名をこの先もずっと受け継いでいこうとできればと考えています。

「ものづくり」としての基本姿勢はお客様ニーズにどうお答えするのか。「お客様のニーズをどう形にするのか」と考えています。今後も、沖縄県民のライフスタイルに合わせた製品作りを取組んでまいります。



原料から製造・印刷など、すべての工程を自社工場で一括して行っています。

沖縄県食品産業協議会「第37回通常総会」

平成26年6月20日(金) サザンプラザ海邦

沖縄県食品産業協議会「第37回通常総会」が那覇市のサザンプラザ海邦にて開催されました。議長を務めた桑江良一会長(株式会社沖縄ホールメール会長)は、「円安や消費税率引き上げ等による原材料価格の変動に伴い、コストが上昇。食品関連企業にとっては厳しい状況が続くが、こういった時代だからこそ、強い会社作りが必要。食品産業協議会としても連携を図りながら乗り越えていきたい」と挨拶しました。

通常総会では、平成25年度事業、収支決算の報告、承認をはじめとする様々な議案について論議が行われました。

昨年度も食品産業に係わる多くの研修、講習会が食品産業協議会主導により開催されており、今回の通常総会の場でも、知財総合支援窓口(内閣府沖縄総合事務局委託事業特許等取得活用支援事業)窓口支援担当の本藤勉氏を講師に招いた「経営への知的財産の活用」をテーマにしたセミナーが開かれています。

全国、沖縄で話題になった知財トピックを例に挙げ、無形資産の財産化や創意工夫の促進、競合者間の競争力強化など、知的財産の活用によって得られる経営効果が詳細に説明され、参加した会員にとっては例年以上に有意義な会となりました。

閉会後は懇親会も開催され、会員同士の友好関係もより深まりました。



知財総合支援窓口支援担当の本藤勉氏による「経営への知的財産の活用」をテーマにしたセミナーのようす。



総会を終えての懇親会では、会員同士の親睦を深めた。



桑江会長による挨拶では、「近年の食品産業界を取り巻く厳しい状況に対し、当協議会と食品関連企業との強い連携が必要である」と訴えた。

平成26年度九州食品産業協議会定期総会

平成26年6月26日(木) ザ・ナハテラス

九州各県を代表する食品産業協議会会長、関係者らが一堂に会し、ザ・ナハテラスを会場に「九州食品産業協議会総会」が開催されました。

司会には、福岡県食品産業協議会会長(九州食品産業協議会会長)柴田守一氏をお迎えし、沖縄県食品産業協議会桑江良一会長が開催地会長として挨拶を述べ、沖縄総合事務局農林水産部食品・環境課から富里清課長をはじめ3名のスタッフが来賓として列席されました。

おもな議事としては、平成25年度事業報告及び決算報告・監査報告、平成26年度事業計画及び収支予算案に続き、平成26年度会費の金額及び納入方法決定について、報告が行われました。

また、沖縄総合事務局農林水産部、(一財)食品産業センターによる行政報告も同時に行われました。沖縄総合事務局農林水産部の富里清課長は、沖縄県における農林水産、食品加工の動向やそれらにまつわる課題、対策を含め、「輸出額1兆円」という目標に向け、行政と食品産業界とが密な連携を図ることが重要」という見解を述べました。

各県食品産業協議会による平成25年事業の活動報告も行われ、他県での取り組みや実施事業について互いに理解を深めるよい機会となりました。

総会終了後にはガーデンルームにて交

流会場の持たれ、沖縄県食品産業協議会顧問土肥健一氏による挨拶にはじまった会では各県の代表者同士が親睦を深めました。

翌日には土肥氏が社長を務める株式会社サン食品での工場見学会が行われ、他県から訪れた参加者は、「沖縄の食文化にふれることができ有意義だった」と満足な様子でした。



沖縄県食品産業協議会 桑江良一 会長



九州食品産業協議会 柴田守一 会長



事業などの各報告に続き、九州食品産業界が抱える課題・未来についても、活発な議論が交わされた。



総会の翌日には、(株)サン食品での工場見学会も実施された。

【県産品愛用は雇用を拡大し豊かな沖縄県をつくります】

全国平均より高い県内失業率を改善するため、行政や企業、教育機関やマスコミなど、県民が一体となって取り組む「みんなでグッジョブ運動」が**2007年**からスタートしています。

県内の完全失業率は**2007年平均の7.3%**から**2013年平均が5.7%**とやや改善しましたが、全国平均の**4.0%**との開きもあり、全国で最も失業率の高い都道府県となっています。

「積極的な県産品の愛用」は域内の経済循環を高め、地場産業の振興・発展に大きく寄与するとともに、**雇用の創出・確保**など地域活性化に直接つながる有効な手段です。

県産品愛用の経済効果



最新のデータを利用して県産品の自給率が変化した場合の経済効果の調査研究をした結果、県内製造業の自給率(**32.6%**(**2005年**))が3%及び6%に伸びた場合の生産誘発額、雇用者誘発数をシミュレーションすると、

		生産誘発額	雇用者数
自給率 32.6% (2005年)	3%伸びた場合	455億6,100万円	4,778人
	6%伸びた場合	920億9,200万円	9,640人

(公益財団法人九州経済調査協会 試算)

という結果が出ており、非常に大きな経済効果であることを示しています。みんなが県産品を愛用することで、県内産業が振興し、雇用が生まれます。ひいては、私たちの暮らしも豊かになり、住み良い環境を築いていけるのです。

私たち一人ひとりが県産品を愛用し豊かな沖縄県をつくりましょう。

県民の皆さまの「県産品の愛用」が10,000人の雇用を創出します!!

公益社団法人 沖縄県工業連合会

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

工学部後援会主催就職説明会報告

工学部後援会事務局 堤純一郎・中田幸造



琉球大学工学部後援会は、5月21日および28日(午後12時から4時)に後援会会員企業による就職説明会を開催しました。

今回は、これまでの工学部1号館ロビーから大学会館3階特別会議室に会場を移しての実施となりました。両日あわせて33社(延べ数は43社)に参加いただき、参加学生数は両日で116名(延べ人数)となりました。参加学生へのインタビューでは、「求めている情報を入手することができた。質問に対して丁寧に話してくれた。」「企業がどのような人材を求めているのか、どのような事を行っているのかを知ることができた」などの感想があり、学生にとっては有益な機会となったようです。

今回の就職説明会の従来と異なる点は、会場を空調の効く大学会館に移したこと、タイムスケジュールを設定したこと、会場は電源設備が整っており、参加企業の方々はプロジェクタやディスプレイ、パネル

などを準備して参加学生に対して熱心に説明して下さったのが印象的でしたが、残念ながら初日の学生の参加が今一つの状況でした。学生インタビューの中には、「工学部の時と違って多少参加し難くなった。」という感想もあり、会場の環境は大きく改善されたものの、工学部からやや離れたという点が出足の鈍った一つの要因だと考えられます。タイムスケジュールについては、設定時間の長さや時間のコントロールについて参加企業からご意見を頂きました。就職説明会の効果的な宣伝による参加学生数の確保、運営方法など検討していきたいと思えます。

今後も後援会会員企業の皆様と学生の直接的接点となる就職説明会を活性化させ、さらに有意義なものとなるよう工学部は尽力していきます。皆様のさらなるご指導とご支援をお願い申し上げます。



お問合せ先

琉球大学工学部後援会事務局(環境建設工学科内)

堤純一郎・中田幸造

TEL:098-895-8655・8676 FAX:098-895-8677



ホテルビジネス科のご案内

ホテル・観光業では、マニュアル通りのサービスから抜け出た接客のできる人材が求められています。ホテルビジネス科は、高い語学力・接客マナーを身につけたコミュニケーション力など豊かな人材の育成を目指し、実践的な教育カリキュラムで、きめ細かな技術指導をしています。

充実した施設での授業風景



調理実習



接客サービス実習



カクテル講習

企画・演出実習の成果

毎年12月に学生主催による催し物を開催します。昨年は、演奏をダイヤモンドスにお願いし、「琉球ディナーショー」を実施しました。



テーブルセッティング



琉装して司会を務める学生



学生が調理した琉球料理

卒業生の声



私は卒業後、沖縄残波岬口イダルホテルに就職しました。現在はフレンチレストランに配属されています。先輩からの指導や学校で学んだHRS(レストランサービス技能士)の勉強のおかげで、社内サービスコンテスト24歳以下で優勝することができました。

これからも、様々なことにチャレンジし、スキルアップを図りたいと思います。後輩には基本的なマナーやコミュニケーション力を学生時代に身につけてほしいと思います。

お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 **沖縄職業能力開発大学校** (学務課まで)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>



沖縄高専



サマースクール2014 開催日時:平成26年7月26日(土) 9時~12時30分

本校の授業内容等をより深く知ってもらうために、中学生を対象に体験学習を実施します。参加には事前申込みが必要となりますので、参加方法、申込書をよく読んでお申込みください。※

＜場所＞ 沖縄高専

＜参加方法＞ 以下のとおりとなります。申込受付期間は6月30日(月)から7月10日(木)までといたします。

- 1: 申込書(沖縄高専のホームページからダウンロード)に必要事項を記入してください。
- 2: 申込書を郵送、FAX、メールで下記の【お問い合わせ先】まで送付してください。
- 3: 7月14日(月)に、参加可能かどうかを沖縄高専のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

＜注意＞

最新情報、各学科のテーマの詳細については、ホームページでご確認ください。
 ※参加多数の場合は中学3年生、遠方申込者を優先いたしますのでご注意ください。
 ※7月10日(木)の最終申込日は17時必着です。ご注意ください。

日 程 表			
午前8時30分~9時	受付 ※専門科目のみ受講する方は9時30分~10時		
午前9時~10時	<p>一般科目 定員:英語(50名)、数学(100名)、健康科学(30名)</p> <p>一般科目の受講を希望する場合は、下記3つの科目から第2希望まで記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語「多読:易しい英語の本をたくさん読んで、楽しく英語を学びましょう!」 ○数学「三角比:木の高さをもとめてみよう!」※1 ○健康科学「筋肉のふしぎ:筋肉の不思議について勉強しよう!」※2 <p>※1 正規と電卓を準備して下さい。 ※2 健康科学を受講する場合は上履き及び運動着を準備して下さい。</p>		
午前10時00分~10時10分	<p>専門科目の出席確認 ~創造実践棟1Fホール受付~</p> <p style="text-align: right;">＜保護者・学校関係者・塾関係者の方々対象＞ 学生寮見学ツアー受付~創造実践棟1Fホール受付~</p>		
午前10時10分~午後12時30分	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>☆機械システム工学科(定員:50名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機構学 ○熱流体工学 ○制御工学 ○機械力学 <p>上記の4種類の選択科目から2科目を選んで学習します。</p> <p>※人数調整によりご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。</p> <p>☆情報通信システム工学科(定員:80名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PICでプログラミング ○電子回路で遊ぼう! <p>上記の2つのテーマから1つを選択して受講します。</p> <p>☆メディア情報工学科(定員:80名)</p> <p>専門実習入試の内容を体験した後、学科の授業内容を紹介します。</p> <p>☆生物資源工学科(定員:40名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄高専で本物のiPS細胞を見よう! <p>※靴履きで、作業しやすい服装で参加して下さい。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>☆学生寮見学ツアー(10時15分~12時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルルーム(寮生居室) ・浴室 ・ラウンジ ・補食室 ・洗濯室 ・その他 <p>寮見学ツアーの最後に寮に関する質疑応答の時間を設けます。寮見学ツアーで気になったこと、寮生活についての質問等ございましたら遠慮なくお聞き下さい。</p> <p>○寮見学ツアーは寮生が皆様を案内いたします。この機会に、ぜひご覧ください!</p> </td> </tr> </table>	<p>☆機械システム工学科(定員:50名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機構学 ○熱流体工学 ○制御工学 ○機械力学 <p>上記の4種類の選択科目から2科目を選んで学習します。</p> <p>※人数調整によりご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。</p> <p>☆情報通信システム工学科(定員:80名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PICでプログラミング ○電子回路で遊ぼう! <p>上記の2つのテーマから1つを選択して受講します。</p> <p>☆メディア情報工学科(定員:80名)</p> <p>専門実習入試の内容を体験した後、学科の授業内容を紹介します。</p> <p>☆生物資源工学科(定員:40名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄高専で本物のiPS細胞を見よう! <p>※靴履きで、作業しやすい服装で参加して下さい。</p>	<p>☆学生寮見学ツアー(10時15分~12時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルルーム(寮生居室) ・浴室 ・ラウンジ ・補食室 ・洗濯室 ・その他 <p>寮見学ツアーの最後に寮に関する質疑応答の時間を設けます。寮見学ツアーで気になったこと、寮生活についての質問等ございましたら遠慮なくお聞き下さい。</p> <p>○寮見学ツアーは寮生が皆様を案内いたします。この機会に、ぜひご覧ください!</p>
<p>☆機械システム工学科(定員:50名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機構学 ○熱流体工学 ○制御工学 ○機械力学 <p>上記の4種類の選択科目から2科目を選んで学習します。</p> <p>※人数調整によりご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。</p> <p>☆情報通信システム工学科(定員:80名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PICでプログラミング ○電子回路で遊ぼう! <p>上記の2つのテーマから1つを選択して受講します。</p> <p>☆メディア情報工学科(定員:80名)</p> <p>専門実習入試の内容を体験した後、学科の授業内容を紹介します。</p> <p>☆生物資源工学科(定員:40名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄高専で本物のiPS細胞を見よう! <p>※靴履きで、作業しやすい服装で参加して下さい。</p>	<p>☆学生寮見学ツアー(10時15分~12時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルルーム(寮生居室) ・浴室 ・ラウンジ ・補食室 ・洗濯室 ・その他 <p>寮見学ツアーの最後に寮に関する質疑応答の時間を設けます。寮見学ツアーで気になったこと、寮生活についての質問等ございましたら遠慮なくお聞き下さい。</p> <p>○寮見学ツアーは寮生が皆様を案内いたします。この機会に、ぜひご覧ください!</p>		

※12時30分~13時30分の時間帯に学生寮レストランで食事ができます(350円)。数に限りがありますのでご注意ください。

お問合せ先

沖縄工業高等専門学校 学生課教務係

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-4028・FAX:0980-55-4012
 E-mail:summer@okinawa-ct.ac.jp ホームページ: <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>





地域新産業創出基盤強化事業による導入機器の紹介 vol.②

～新規試験研究・検査機器導入により、工業技術センターの基盤を強化しました～

本事業は、国内の成長産業の育成を図るための国の補助事業で、国際物流拠点型産業の発展可能性の高い沖縄地域において、成長産業育成や新産業創出を図るため、中核的試験研究機関である工業技術センターの基盤を強化することを目的としたものです。

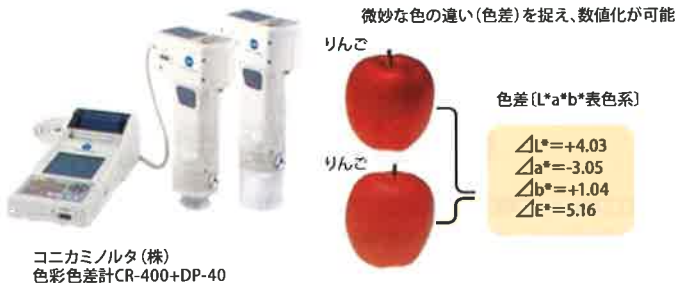
基盤強化のため、県内企業からの要望を踏まえて下記の新規試験研究・検査機器10機器を選定し、工業技術センター内に整備しました。今回は検査機器3機種をご紹介します。(前月号にて、1機種を紹介しています。)

試験研究等設備の導入や広域的な活用の推進については、沖縄総合事務局より委託された事務局(株式会社トロピカルテクノセンター及び一般社団法人トロピカルテクノプラスの共同事業体)が実施しました。

新規機器については、お気軽にお問い合わせいただき、積極的なご活用をお願いいたします。

●ポータブル色差計

対象物の色を測定して数値化する装置です。食品分野をはじめ、様々な分野での品質管理に用いられています。特に飲料や粉末化素材においては、色を数値化した品質の規格設定が求められています。保存や加熱前後の色を測定するなど、色彩的な品質の管理に使用されます。ハンディタイプで製造現場での測定にも対応可能であります。



●温度データロガー

測定対象の温度推移を記録する装置です。一般的には、滅菌(蒸気)のコントロール、冷凍庫マッピング、電子レンジの温度測定、低温殺菌法のコントロールなどに使用されております。製品の日持ち向上試験における滅菌条件の評価に利用可能な他、海外展開において課題となっている製品の輸送環境等で適切な輸送・温度管理がなされているかの追跡試験にも活用できます。



食品・飲料産業のアプリケーション



●乾式粒度分布測定装置

粉末の粒度(粒子の大きさ)と均一性を測定する装置で食品の品質管理のほか、化成品の品質管理にも使用されております。県内では粉末素材を健康食品や菓子類等に应用する企業が多く、高品質な素材が求められています。乾式粒度測定装置は、従来の湿式とは異なり、水分含有の影響を受けないため、精度の高い試験評価が見込めます。



お問い合わせ先

沖縄県工業技術センター 企画管理班(担当:花ヶ崎)

TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:hangskit@pref.okinawa.lg.jp



学卒求人確保及び求人票の早期提出に係わる要請について

県内の雇用情勢は改善しつつあるものの、学生の就職内定率は高校が87.2%、大学が71.0%と全国平均を大きく下回っています。今年度も厳しい状況が予想されており、行政機関、教育機関、経済団体等の連携による就職支援が望まれています。

そこで新規学卒者の就職内定率改善を図るため、仲井眞弘多沖縄県知事は県内各団体及び会員企業に対して採用計画の早期取り組みと「みんなでグッジョブ運動」への積極的な協力を求めました。

要請団に加わった高校生の学生代表も採用条件の改善や雇用の増加を切実に訴え、要請書を受け取った沖縄県経営者協会安里昌利会長をはじめとする経済団体出席者は、「新規事業創設等による求人改革やグッジョブ運動のPR活動にこれまで以上に尽力する」と要請に応えました。



要請団に加わった高校生の学生代表

(一社) 沖縄県発明協会 第4回社員総会

一般社団法人沖縄県発明協会第4回社員総会が沖縄県工業技術センター講堂で行われました。

おもな議案として、平成25年度の事業報告、収支決算書について報告され承認されました。平成26年度の事業計画(案)、収支予算(案)についても審議され承認されました。また、任期満了に伴う役員改選も行われております。

西村聡会長(琉球セメント株式会社代表取締役社長)が今総会をもって会長職を辞任することも同時に報告され、西村氏の長年の功績を称えて花束が贈られました。なお、後任として、オリオンビール株式会社新垣昌光代表取締役専務(公益社団法人沖縄県工業連合会副会長)が会長職を引き継ぐこととなり、総会において承認を受けております。

平成26年度第2回理事会も滞りなく終了。総会閉会后には、第36回未来の科学の夢絵画展(全国展)、第72回全日本学生児童発明くふう展の伝達式が行われ、それぞれの賞を獲得した児童に賞状と記念品が授与されました。

席を移して開催された懇親会では、新旧会長と役員を中心に、参加した会員同士の親睦の場として、次年度に向けての新たな展開やより強固な連携体制の確立に向けた取り組みについて対話を深めました。新体制となった新垣昌光新会長のもと、今年度以降のさらなる発展を誓い合い、閉会となりました。



「全日本学生児童発明くふう展」において入賞された児童への賞状ならびに記念品の授与も行われました。



本会での長年の功績を称え、西村聡会長へ花束が贈られました。



会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか？

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：座間味



Orion

オリオンビール+アサヒビール
共同開発

Asahi

ちゅら たいむ

夏季
限定

爽快で華やかな
夏がきた!



サンサー



沖縄
だより
2014


さっぱり爽快な味わいと華やかな香り
オリオンビール+アサヒビール
共同開発

沖縄
だより
2014

お酒

リキュール(発泡性)①
アルコール分5%



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。
お酒は、おいしく、適量に。のんだあとはリサイクル  **オリオンビール株式会社**